

## 各プロジェクト評価における課題等

## 【状況整理】

## 1. 会員数の減少

会員種別	令和 3 年	令和 4 年 3 月	令和 5 年 2 月
団体会員	1 4 9	1 4 4	整理中
個人会員	6 2 6	5 5 6	整理中

## 2. 新規参入と独立

「今後の GKP の進め方及び GKP 昨日の見直しの考え方」（前本田委員長のメモ）で「新規参入」と「独立」が議論され、その判断については企画運営委員会に委ねられるとされている。（令和 2 年理事会）

## 3. 各プロジェクトの自立（卒業）に対する考え方

総プロジェクト数 1 5

卒業予定なし 1 0

R5 に検討 2（GKP 広報大賞、キッチン・バス連携）

R4 に自立 1（インフラテクコン。自立の判断基準設定を受けて、改めて判断）

R8 に自立 1（M サミット。GKP からの卒業ではなく、予算面での自立）

終了の条件あり 1（東京湾大感謝祭。東京湾大感謝祭が廃止された時に終了）

## 【課題】

## 1. 自立の定義（案）

自立を議論する 3 つの視点

① 看板 … GKP の名のもとに活動

② 人 … プロジェクトを動かす人材。各プロジェクトで集めるのが基本

③ 金 … GKP の財源は会費収入（特定の PJ 支援を目的としていない）が主。

この 3 つの視点を踏まえ、プロジェクトの自立は以下の 2 つを意味する旨、自立の定義を提案する。

(1) 人もお金も独自に集め、GKP の名前も使わずに活動。

(2) GKP の名前は引き続き使うが、人とお金は独自に調達して活動。

※上記を基本として、必要があれば、プロジェクトの性格を踏まえた検討を行う。例えば、他団体からお金を集める名目上、GKP から僅か（例えば 1 万円）でもお金が出ている形をつくりたいケースなど。

## 2. 自立の判断基準をどう定めるか

（案）プロジェクトの立ち上げから 5 年間で自立することを基本とする。

※現存するプロジェクトについては、経過措置として、今後 5 年間で段階的に予算を削減していく。

※プロジェクト廃止の判断基準についても別途検討。